

# 第5章

## 巻末資料

### 1 書式例

#### 【関係書類の例】(1)～(5)

### 2 自立活動学習指導案

#### 【関係書類の例】

(1) 通級指導教室運営に関する説明資料
(2) 通級便り
(3) 通級による指導の指導時間の希望
(4) 通級による指導の指導時間について
(5) 在籍校訪問記録用紙
※ 通級指導該当児童生徒について
※ 指導を受ける児童生徒の特別の教育課程編成届
※ 通級指導終了児童生徒について

通級指導教室を運営していくに当たり必要な書類の参考例です。

各市町から提示されるもの(※参照)もありますので、関係教育委員会と連携しながら作成を進めましょう。



# 1 書式例 (1) 通級指導教室運営に関する説明資料

平成〇〇年度〇〇通級指導教室の運営について

〇〇立〇〇学校

## 1 〇〇教室について

### (1) 通級指導教室（発達）とは

学校教育法施行規則第 140 条及び第 141 条に基づき、小・中学校の通常の学級に在籍する学習障害や対人関係・感情や行動のコントロールに障害がある児童生徒に対して、通常の学級に在籍しながら、障害を改善・克服するための特別な指導を部分的、継続的に行うために設置されています。県内の中学校では、〇〇市に 1 校、〇〇市に 3 校、〇〇市に 3 校の 7 校に設置されています。

### (2) 対象となる生徒

「学習障害（LD）」「注意欠陥多動性障害（ADHD）」「自閉症またはそれに類する者」で通常の学級の学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒です。※医療機関の診断や巡回相談員の見立てなどが必要です。

### (3) 通級指導日について

- ・年間 35 単位時間～280 単位時間（週 1～8 単位時間）を標準とします。（LD 及び ADHD は、月 1～週 8 単位時間）ただし、生徒の実態によっては途中で変更することがあります。
- ・通級については、保護者の送迎が条件です。指導日決定の際は保護者の送迎可能な曜日等を確認します。
- ・巡回による指導は月 1 回の指導が基本になります。通級指導担当が在籍校に出向き在籍校の教室を借りて指導します。保護者の付き添いはありません。
- ・月ごとの通級時間割を前月の末までに学校へ送ることになりますので、予定等を確認してください。通級日と在籍校の行事等が重なった場合、本人や保護者と相談し、本人にとって効果がある方を優先させてください。通級を欠席する場合には、保護者から事前の連絡をお願いしています。
- ・行事や出張等により通級指導担当不在のために指導ができなくなることもあります。事前に予定が分かっている場合には、指導を休みにして振替で対応します。
- ・通級指導教室に実際に通った出席日数については、出席証明書を前期・後期でまとめて在籍校に送ります。在籍校名、校長名の記入と押印をいただき在籍校の事務室に提出してください。

### (4) 通級方法と安全対策について

移動時の安全対策、また保護者との連携のために、保護者の送迎を条件としています。通級のための移動中、万が一事故等に遭った場合、日本スポーツ振興センターの手続きは在籍校で行います。

### (5) 在籍校の出欠席について

公的な教育機関ですから、通級日は出席扱いになります。通級の授業を遅刻、早退した場合も、出席簿、要録上は出席扱いです。通級生徒については、「特別な教育課程」を編成することになり、通級による指導は、在籍校での授業の一部を変更、または付け加えた指導という扱いになります。

### (6) 教育課程の届けについて

在籍校は通級指導教室と連絡をとり、「通級による指導を受ける児童生徒の特別な教育課程編成届け」を作成します。

(7) 指導要録の記入

年度末に、指導要録の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄に、①通級による指導を受ける学校名、②週当たりの通級指導時数、③指導期間、④通級での指導内容や結果を記載してください。なお、入級判断が出て、通級への在籍が決まった後、本人の都合で一日も通級しなかった場合も、年度当初に在籍していたことになるので同様に記載します。

【記入例】

	総合所見及び指導上参考となる諸事項
該当学年	〇〇立〇〇学校「通級指導教室（発達支援）」に週〇時間通う。 （平成〇年〇月〇日～平成〇年〇月〇日） 〇〇に対する〇〇指導

(8) 通級指導教室での指導内容について

入級時に実態把握ができたところで、具体的な指導目標を立てます。その際は、在籍学級で使用している「個別の教育支援計画（アセスメント等）」や「個別の指導計画」のコピーを参考にさせていただき、通級指導教室での「個別の指導計画」を作成して指導します。

ア 学習障害（LD）（例）

例えば、読み書き障害のため漢字を正しく書くことができない生徒には、漢字の成り立ちを知ることでイメージをもち、筆順を唱えながら書取りを練習することで学習の定着を図るなどします。「自分に合った学び方」を見付けることや「得意な部分を伸ばす」「楽しく勉強する」などの自己肯定感を高めることを目的としています。学力そのものの向上やテストの得点を上げるといった教科補習が中心ではありません。

イ コミュニケーションが苦手な生徒（自閉症）（例）

ソーシャルスキルトレーニング（SST）を活用し、場面によってどのような行動が望ましいかを学び、状況への対応の仕方についてロールプレイを通して演習します。必要に応じてグループ指導も計画します。

ウ 活動に集中することが苦手な生徒（ADHD）（例）

スケジュールや活動内容を視覚化したり、周りの刺激を調整したりすることで、集中力を伸ばすトレーニングをします。必要に応じてグループ指導も計画します。

(9) 〇〇教室の特徴

通級指導教室は〇〇学校内ではなく、〇〇市の〇〇（施設名）内にあります。これにより、生徒が感じやすい「制服の違う他の中学校へ通うこと」への抵抗感を軽減することができます。また、特別支援教育センター内に専門職（臨床心理士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士）が常勤していますのでいつでも相談することができます。

2 入退級手続きについて

(1) 入級手続き

（入級の条件）

ア LD、ADHD、自閉症いずれかの症状や診断が医療機関から出ていて、巡回相談で通級による指導で効果があるという見立てがあること。

イ 学校、保護者ともに通級による指導が必要であると感じていること。

保護者から申し出る場合もあるかと思いますが、その場合も校内支援で十分なのか、就学支援が必要なのか、通級による指導が適当なのかを校内の特別支援委員会で十分御検討ください。また、中学生は本人が納得して通うことも大切です。

- ウ 保護者が送迎できること。
- エ 原則として授業や部活動を抜けて通うことができること。
- ※ 指導の中心は在籍校です。いくつかある生徒の課題の中で、通級で学ばせたいことを十分御検討ください。

(入級の流れ)

- ア 通級による指導の見学や相談については在籍校校長から市町教育委員会に依頼をする。
- イ 校内特別支援委員会で通級による指導が適当と判断が出た後、書類の準備を進める。
- ウ ○○市就学支援委員会で入級判断が出た後、入級の手続きを進める。その際、入級判断の結果を口頭で保護者に伝える。

## (2) 退級手続き

(退級の条件)

- ア 通級指導担当が、退級目標を達成したと判断した場合
- イ 在籍校が、退級が適当と判断した場合
- ウ 保護者の申し出による場合
- エ 卒業の場合
- ※ ア～ウの場合、退級の話が出た時点で通級指導担当、在籍校、巡回学習相談員、保護者（本人）で連絡を取り合い、退級について話し合います。

(退級の流れ)

- ア 校内特別支援委員会で退級が適当と判断が出たら書類の準備を進める。
- イ ○○市発達支援委員会で退級判断が出たら、退級の手続きを進める。

## (3) 継続の場合

次年度も通級による指導を継続する場合の手続きはありません。

## 3 通級指導教室と在籍校との連携について

### (1) 指導開始時

通級することが決まったら、在籍校は「時間割一覧表」と「個別の教育支援計画（アセスメント等）」を通級指導教室に送付する。（通級指導担当から連絡する。）

### (2) 指導期間中

- ・指導日には、連絡ノート等に通級指導担当のコメント、生徒の振り返り、（保護者から）を記入して生徒に持たせます。授業記録やワークシート等の学習したものは文書便で送付します。学校ごとに個人ファイルを用意していただき、とじて保管しておいてください。
- ・5月、11月に在籍学校訪問を行い、通級している生徒の授業の様子を参観したり、在籍学級担任との情報交換をしたりします。
- ・巡回相談に同席し、個別の指導目標の評価を行います。（在籍校、または○○教室で）

### (3) 教室説明会、担任参観

- ・年度当初に教室説明会を開き、通級による指導に関する説明を行います。
- ・年度に1度、担任参観期間を設け在籍校の先生方に通級による指導の様子を見ていただきます。日程については、各学校へ連絡します。
- ・通級に来ている生徒の中には、通級していることを知られたくないと考えている生徒もいます。個人情報の管理や通級に関する話題には十分に御配慮ください。
- ・通級で抜けた授業については、生徒が安心して通級できるように、例えば封筒やファイルを用意し教科担任に課題プリントや宿題のメモ書きなどを入れていた

だくなどの工夫をしてください。

- ・通級日に在籍校でテスト等がある場合には、本人、保護者、在籍校で判断し通級を休みにしていただいてもかまいません。
- ・校内の他の職員への理解については、通級指導教室で定期的に発行しているお便りや通級指導教室の手引きなどを校内で回覧する、職員会議で通級している生徒の情報を共有する時間を設けるなど、各学校で工夫し、特別支援教育への理解を進め、環境の整備が広がることを期待します。
- ・クラスの生徒には「通級」することへの誤解や偏見が生まれないように説明いただけると助かります。説明の方法については、本人や保護者と相談の上決めてください。

#### 4 指導時間割

個：個別指導      グ：グループ指導

曜日		月	火	水		
I	8:40~9:25	個（A児）	個（D児）	個（I児）		
II	9:50~10:35	個（N児）	個（P児）	個（I児）		
III	11:00~11:45	個（B児）	個（E児）	個（R児）		
IV	13:00~13:45	個（O児）	個（Q児）	個（S児）		
V	14:10~14:55	個（C児）	個隔週 （G児／J児）	個（F児）		
VI	15:20~16:05	個（H児）	グ（A児L児）	職員会議（1週） ／教材研究		

#### 5 年間計画

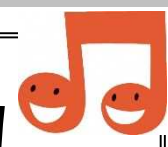
月	指導	保護者との連携	在籍校との連携	地区担当者との連携	広報等
4	教室開き 前期開始	保護者会①	連絡会①		通級便り
5		個別面談①	在籍学校訪問①	地区担当者会①	
6					
7	学習交流会①	保護者会②	参観会①		通級便り
8	夏期休業		連絡会②	担当者研修会①	
9	前期終了	個別面談②	指導報告書配布①		
10	後期開始				通級便り
11			在籍学校訪問②	地区担当者会②	
12	冬期休業 学習交流会②	保護者会③		担当者研修会②	
1			参観会②		通級便り
2			連絡会③	地区担当者会③	
3	後期終了	個別面談③	指導報告書配布②		通級便り

# 1 書式例 (2) 通級便り 例



No.1 H O . 4 . O  
〇〇通級指導教室  
(〇〇教室)  
教室直通  
〇〇-〇〇〇〇

スマイル



新年度が始まりました。“出会いの春”ワクワクする時期ですね。

今年度3年目を迎えるスマイル教室も、そんな子どもたちが楽しみを笑顔で語れるような雰囲気づくりに努め、在籍校や家庭との連携づくりをしていきたいと考えています。



通級指導教室（発達）とは

～通級指導教室（発達）の支援は「環境調整」と「自己理解の促進」～

特別支援教育において、ICF（国際生活機能分類）の考え方が特別支援学校の学習指導要領に取り入れられた。環境因子と個人因子への働きかけが、通級指導教室（発達）でも鍵を握ると考えている。環境因子の最大の人的要因は、家庭では保護者、学校では関わる教師と児童生徒である。この関係者が、発達障害のある児童生徒の特性の理解を深め、適切な対応をすることで生活が安定してくる。また、個人因子の中で重要なのが自己理解であるとする。適切な自己評価と他者からの指摘を受け入れられるようになることが対人関係の向上につながると考えられる。

～通級書籍より抜粋～

担当：〇〇

スマイル教室3年目です。今年は子供や保護者の声を耳と心と笑顔で聞けるようになります！よろしくお祈りします。



サポート員：〇〇

スマイル教室1年生です。新しい環境に早く慣れ、お子さん、保護者の皆様と笑顔で過ごせるよう頑張ります。よろしくお祈りします。

お知らせ

- ◆学校訪問 4/13（木）～/28（金） 授業参観と担任・特別支援教育コーディネーターとの面談
- ◆授業開始 5/1（月）からの予定です。（個別授業で実態把握から始めます）

子どものことをよく知るために・・・

学級開きを終え、組織づくりや学級目標決め、掲示物づくりなどをするころですね。

そんなときに、ちょっといつもと違うことを取り入れて、しかも子供のことをよく知ることに役立つ方法があったらやってみたくありませんか？

書字のテスト（時間内に何字書き写せる？）や聞くドリル（考えながら聞き取ることができる？）など楽しみながら、学級づくりのひとつの方法としてやってみてはいかがでしょうか？また、この時期にストレスチェックをやっておくと子供自身の自己理解のための資料にもなります。学力や知的分野以外での特性が分かると見方やかかわり方が変わってくるかもしれませんよ。スマイル教室に教材がありますので問い合わせてみてくださいね。

# ひまわり



No.〇 H □. □. □

通級指導教室（発達）

△△市立 □□小学校

学校 TEL 〇〇-〇〇〇〇

教室直通 〇〇-〇〇〇〇

朝夕すっかり涼しく、秋らしくなりました。気温の変化に体調をくずしているお子さん、保護者の方も多く心配です。体調管理を心掛けてください。

先週の授業では、前期の成績のことが多く話題になりました。いつもお願いしていることですが、できたことや頑張ったことをたくさんほめてあげてください。そして、もう少し頑張らせたいところは、上手に励ましていきましょう。



### 〇月の予定

□日（ ）	午後	お休み	（就学時健診）
□日（ ）	午後	お休み	（研修会）
□日（ ）	午後	お休み	（運動会準備）
□日（ ）	一日	お休み	（運動会代休）
□日（ ）	15:00～	お休み	（面談）

### ～大人に求められる対応～

- ①指示的なかかわり  
【指示・規制・叱責等】  
…自然とやっている、できる
- ②気持ちを支えるかかわり  
【誘いかけ・励まし・承認・賞揚等】  
…意識・努力（スキルアップ）  
しないとできない

私たち大人（自分）が、目の前の子供にとってどんな存在なのか、どんな姿に見えるのか、想像したことがありますか？

子供自身が「こんな大人になりたいな」と目指す気持ちが、自立への第一歩です。子供の立場に立って、自分の姿を振り返ってみることも、大切な支援の一つなのかもしれません。

### ～中集団活動について～

3回の中集団活動を、〇月〇日～〇日に予定しています。  
参加希望表をお配りしますので、ご希望をお知らせください。



※学校の行事が多い時期です。中集団活動への参加は無理をせず、行事関係を優先しましょう。  
来月下旬にも、4回の中集団活動を計画します。

### 「やりたくない」は「できない」のサイン

いろいろな場面で、お母さんや先生の「面倒がってやらないんですね。」とか「ついていけばできるのに、一人だとやらないんですね。」という声を聞きます。

「やりたくない。」という子に「どうしてやりたくないの？」と尋ねると、「面倒くさい！」という答えが返ってきます。「どうして面倒くさいの？」とさらに尋ねると、「どうやって書けばいいのかわからないよ！」という答えが…。

確かに、文章を書くことが苦手な子は、「さあ、書きましょう。」と言われても困ってしまいます。運筆が上手にできない子や、見て書き写すことが苦手な子は、難しい漢字を10回も書くことは、とても負担に感じるでしょう。

気持ちを上手に表現できない子供たちにとっては、「やりたくない」は「分からない」「できない」「負担感が大きい」等々の意味を含んだ精一杯の自己表現、SOSであることが多いと感じています。また、自信がないことに尻込みしてしまう子も、とても多いです。

「やらない」という問題（行動）の陰には、「できない」という問題（困難）が隠れていることが多いようです。「やりたくない」を単に「怠けている」と片付けてしまわずに、子供の困り感を察して、必要な支援をしていきたいと思えます。



# 1 書式例 (3) 通級による指導の指導時間の希望

文 書 番 号  
平成〇〇年 月 日

関係〇〇学校長 様  
関係〇〇保護者 様

〇〇立〇〇学校長

平成〇〇年度通級による指導の指導時間帯希望調査について

平素より本校の通級による指導について、御理解御協力をいただきありがとうございます。

さて、通級による指導の週指導計画の作成に当たり、対象となる児童（生徒）の指導時間の希望調査をしますので、別添の調査用紙に必要事項を御記入の上、平成〇年3月〇日までに、本校あてに御提出願います。



平成〇〇年度通級による指導の指導時間希望調査用紙(回答)

提出日 平成〇年〇月〇日  
 学校名 〇〇〇立〇〇学校  
 児童・生徒名 ( )

希望順位	希望番号	希望曜日時間帯	理 由
記入例	②	(月)9:50~10:35	服薬の関係で朝の方が集中できるから
1			
2			
3			

週 指 導 時 間

	月	火	水	木	金
I 8:40~ 9:25	①	⑦	⑬	⑱	⑳
II 9:50~10:35	②	⑧	⑭	⑲	㉑
III 11:00~11:45	③	⑨	⑮	㉒	㉓
IV 13:00~13:45	④	⑩	⑯	㉔	㉕
V 14:10~14:55	⑤	⑪	⑰	㉖	㉗
VI 15:20~16:05	⑥	⑫		㉘	㉙

# 1 書式例 (4) 通級による指導の指導時間について

文 書 番 号  
平成〇〇年 4 月〇日

関係〇〇学校長 様

〇〇立〇〇学校長

平成〇〇年度通級による指導の指導時間について(通知)

平素より本校の通級による指導について、御理解御協力をいただきありがとうございます。

さて、本年度は貴校より 4 人の児童(生徒)が本校で通級による指導を受けることになっております。

つきましては、指導時間を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

なお、関係保護者及び担任の先生方にお知らせいただきますとともに、在籍学級の週指導計画等の作成等に御配慮いただきますようお願いいたします。

記

通級による指導を受ける児童(生徒)及び指導時間

学 年	氏 名	通級の経験	指導の曜日及び時間
2 年	〇〇 〇〇	新 規	○曜日 8 : 40 ~ 9 : 25
3 年	〇〇 〇〇	新 規	○曜日 9 : 50 ~ 10 : 35
5 年	〇〇 〇〇	継 続	○曜日 14 : 10 ~ 14 : 55
6 年	〇〇 〇〇	継 続	○曜日 13 : 00 ~ 13 : 45

# 1 書式例 (5) 在籍校訪問記録用紙

◆通級指導教室 ( ○ ○ 教室)

○在籍校訪問記録

記録者：

在籍校	学校 年 組		生徒氏名	
訪問日時	平成 年 月 日	( ) ( : ~ : )		
担任	先生	特別支C	先生	
時間割	<input type="checkbox"/> 教科	<input type="checkbox"/> 学習内容	<input type="checkbox"/> 座席	在籍数 男子 ( ) 女子 ( )
①	-----			
②	-----			
③	-----			
④	-----			
	◆時間	◆生徒の活動・様子	◆教師の指示	◆支援
[学 力]				
聞く				
話す				
読む				
書く				
計算				
推論				
[行 動]				
時間への意識				
あいさつ				
集団行動				
対人関係				
注意・集中				
[運 動]				
身体運動				
手先の運動				
[生 活]				
机の整とん				
ロッカーの整とん				
身なり				
係の仕事				
掲示物				

## 2 自立活動学習指導案

### 通級指導教室 学習指導案

指導者

- 1 日時 平成 年 月 日 ( ) 第 校時
- 2 学級 通級指導教室 (発達支援) 児童: □□ □□ 1名
- 3 題材名 リラックスして、いい漢字、いい感じ! (6/7時)

#### 4 単元の目標

本児の集団参加に対する自信低下の一つの要因となっている書字の困難さに対するアプローチをきっかけとして、手指や体の使い方のトレーニングや、人と関わりながら行う学習ゲーム等の活動を通して、自分の苦手なことをする時には、助けを求めてもよいことが分かり、アドバイスを受けながら取り組むと、読みやすい字が書けることに気付いて、リラックスして学習できるようになる。

#### 5 子供と単元

Aさんは、本年度5月より通級による指導を開始した。これまで、大きく集団不適応を起こしたことはなく、授業にも意欲的に参加しているので、一見すると本人が学校生活に対して困難さを抱えているようには感じられず、むしろ、頑張り屋である、という印象も受ける。しかし、現状として、登校を渋る傾向にあり、毎朝、母親はその対応に苦慮している。その要因としては、感覚統合の弱さ、社会性の未熟さがうかがえる。体の使い方がぎこちなく、不器用であることで、友達とうまく遊べなかったり、体育の授業に苦手さを感じたりすることがあり、身支度など身の回りのこともスピーディにできないので、本人の自分へのイライラが募ることも想像される。また、書字障害との診断を受けており、本児が思い付いたままに書いた文章は、他人が解読困難である。

一方、そのような難しさを抱えていても、本人自身は「頑張りたい」という思いがとても強く、学年の計算練習の自主勉強などでは、誰よりも多く練習をして提出するといった姿勢も見られる。しかし、その頑張りたい、負けたくない気持ちが、頑固なマイナスの一面として表れ、困ったことがあっても誰にも相談できずに周囲から孤立してしまう状況がある。

通級指導教室での個別支援により、書字の困難さへのアプローチを行い、併せて自己理解と年齢相応の社会性・コミュニケーションスキルの習得を目指して、スモールステップで様々な経験を積み重ねながら自己肯定感を高め、肩の力を抜いて集団参加できるような柔らかな心を育みたい。

本時は、「足りないものは?」「漢字・片仮名陣地取りゲーム」の二つの課題を中心に学習する。

始めに、体幹トレーニングを行う。日常生活で意識しにくい体の部分に刺激を与えることで、バランスを整えたり、リラックスしたりして課題への集中や成果を期待する。また、シリコン製の教具を用いて指のエクササイズを行い、手指のスムーズな動きを促す。運筆練習、ワーキングメモリーのトレーニングは、毎時間継続して取り組むことで書字や作業能力のボトムアップをねらう。

次に、「足りないものは?」を行う。2枚の写真カードの間違い探しをする。五つ全部見付けるまで、答えを言っではいけないルールになっていて、ワーキングメモリーも刺激される。なかなか見付けられない時は、「ヒントをください。」と言えるよう伝えておく、本児は、一人で最後までやりたい気持ちが強く、そうは言ってもなかなか言い出せない。あらかじめ終了時刻を伝えておき、一番望ましいのは、ヒントをもらって制限時間内に五つ見付けられることだということも共通理解しておく。その後、見付けた五つを文章で表現する。本児は、口頭では的確に解答できるので、それを正しく書き表せるよう声掛けしていく。「後で自分で読む」ことを意識しながら書けると良い。

次は、「漢字・片仮名陣地取りゲーム」である。8×8の方眼の陣地を、漢字と片仮名を書きながら自分の陣地にしていくゲームである。陣地を取りたいからとさらさらと書いてしまい、角が丸くなったり、とめ、はね、はらいが意識されなかったり、漢字を構成する各パーツのバランスが悪くなってしまうと陣地はもらえないルールなので、真剣に文字の形を意識して書こうとするだろう。また、陣地を取るための正しい字にするためには、教師のアドバイスやヒントを素直に受け入れて書き直しをする方が得である。T「ここは2本だね。」A「書き直してもいいですか?」T「いいですよ。」そんなやりとりが、楽しい・うれしいという快の経験と重なることで、他人からの支援を好意的に受け入れること、上手に助けをもらいながら集団参加していくことへとつながっていきたい。視覚認知の面で、形がうまく捉えられない特性に加え、分かっているもスムーズな運筆ができないためにうまく表記できないこともあるが、本児自身が、正しく書けているか判断することや、どこが違うか気付けるようになることは、読みやすい字を書くことにつながると期待している。

最後に、1時間の学習を振り返り、楽しかったこと、頑張ったことを話したり書いたりする。作文指導も兼ねて、書き方を示した振り返りカードを用意する。頑張りを認めることで、達成感や満足感を味わって終わり、次時への意欲につながるようにしたい。

6 本時の指導

(1) 目標

- ・分からないことや困ったことがあるときは、素直に教師にアドバイスを求めて受け入れることで、スムーズに活動できることの心地良さを感じる。
- ・間違い探しやゲームを楽しみながら、書いた字を後で読み返すことや自分以外の読み手を意識することで、一画一画をゆっくり丁寧に書こうとする。

(2) 指導過程

○教師の働きかけ ・予想される子供の活動	(支) 支援	☆研修テーマと関わるもの	(評) 評価
<p>・入室「こんにちは」 → 手洗い</p> <p>○準備をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・封筒を先生に渡す → 机の準備 → 筆箱、下敷きを机の中にしまう</li> </ul> <p>○始めの会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> <li>・口の体操</li> <li>・日付の確認 (□月□日□曜日)</li> <li>・今日の予定を聞く</li> </ul>	(支)口の体操では、長く伸ばすことだけにこだわらず、口の形を意識して、はっきりと発音できるよう声を掛ける。	(支)まずは一人で取り組むところを見守る。忘れていたことは声掛けして確認する。	
<p>○サーキット (体幹トレーニング)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 トランポリン (50回)</li> <li>2 ハンドローラー (膝を床に付けて10往復)</li> <li>3 バランスボール (座って30秒・うつ伏せ30秒)</li> </ol>	(支)トランポリンでは、低く上下するのではなく、ジャンプする感覚を意識できるように声掛けしたり、一緒に跳んだりする。バランスボールは支持して安定させ、ゆったりと全身の力が抜ける感覚を意識する。		
<p>○「ぬりまるくん」(手指の巧緻性・運筆練習)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指のエクササイズをしよう。</li> <li>2 姿勢と持ち方を確認しよう。</li> <li>3 1, 2, 3のリズムで書こう。</li> </ol>	(支)開始前に、指先のストレッチを行い、手指の緊張をほぐす。	(支)三角鉛筆又は補助具(Qグリップ)をAさんに勧める。使うかどうかはAさんの意思を尊重する。	
<p>○「〇×数字レース」(WMトレーニング・手指の巧緻性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 指定の数字の時は上、そうでないときは下を通って迷路を進もう。</li> <li>2 通った色の数を数えて、答えを書こう。</li> </ol>	(支)速さだけを求めないように、上下の正確さや、はみ出さないように取り組んでいる姿勢をほめて意識付けする。		
<p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">足りないものは？(間違い探し)</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2枚の写真を見比べ、足りないものを五つ探す。</li> <li>2 何がどう足りないのか説明する。</li> <li>3 説明したことを文で書く。 *平仮名、片仮名、漢字を使う。 *句読点を付ける。</li> <li>4 書いた文を読む。</li> </ol>	(注視、視線の移動・集中・視覚情報理解・短期記憶・表現力)	<p>☆見付けられない時、一人で頑固に探し続ける傾向にあるので、早めに「ヒントを下さい。」と言えるとよいことをあらかじめ伝えておく。</p> <p>☆五つを記憶して書くため、焦って筆圧が弱く字形も乱れてしまう。書き始める前に、慌てなくて大丈夫ということ、後で自分が読みやすく書けた方がいいことを確認しておく。</p>	<p>・探すのは得意！</p> <p>・「〇〇が半分足りない。」</p> <p>・探すのは楽しいけど、書くのはめんどくさいなあ…。</p>
<p>(評)困ったときに、アドバイスを受け入れる気持ちになる。(会話・取り組みの様子)</p> <p>(評)後で読み直すためには、読みやすい字で書いた方が良いことが分かり、意識して書こうとする。(取り組みの様子・ワークシート)</p>			
<p>○ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">漢字・片仮名陣地取りゲーム</span> (書字練習)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 二つのさいころを転がして、数字さいころの出た目の数と同じ音数の言葉を考える *色のさいころ…赤橙黄が出たら片仮名の言葉 …緑青白が出たら漢字の言葉</li> <li>2 まず目に書く。(正し書けると自分の陣地になる)</li> <li>3 相手と交替で進め、陣地を多く言葉で埋められた人の勝ち。</li> </ol>	<p>・陣地がもらえるように、漢字を正しく書くよ！</p> <p>・右側が大きくなりすぎた。書き直してもいい？</p>	<p>☆文字を構成する各パーツの大きさの違い、線の長さ、点の向き等を伝え、意識できるように声を掛ける。</p> <p>☆字形に気をつけて書けた時や、文字がまず目にバランスよく収まった時は、大いに褒め、書字への自信をもたせる。</p>	
<p>(評)自分の陣地を増やすために、文字を書くことに意欲的に取り組む。(取り組みの様子)</p> <p>(評)教師のアドバイスを受け入れて、字形を意識しながら書こうとする。(取り組みの様子・ワークシート)</p>			
<p>○終わりの会をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番伝えたいことを振り返りカードに書く。</li> </ul> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">今日、ぼくが一番がんばったことは、じん地取りゲームです。漢字をたくさん書きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた文章を読む。・プリントをファイルにとじる。・挨拶</li> </ul>	(支)書き方のパターンを示したカードを用意する。 ☆事実の羅列にならないよう、書きたい内容を教師が聞き取ってメモし、必要な部分を本人が抜粋し整理してから、カードに写すようにさせる。		